

12月2日(日) Rasty Kanokogi Memorial 第38回塾友杯少年柔道大会に19団体209名が参加

1. 期 日 2018年12月2日(日)
 - 9:00 開会式・Kanokogi 賞表彰他・試合 (小学4年生の部まで)
 - 12:00 午後の部・試合 (小学5年生の部～中学生の部)
 - 16:30 閉会式(受付は8:00より開始します。午後の部に出場するグループは11:00までに受付をして下さい。)
※終了時間は、試合の進行状況によって前後することがあります。
2. 場 所 学校法人東海大学望星学塾2F柔道場
3. 趣 旨 柔道を学ぶ少年少女達が明るく逞しく健やかに成長することは万人の願うところです。松前柔道塾では、後援会である塾友会の協力を得て、年の終わりに1年間の練習成果を試合で試みる目的をもって、塾友杯少年柔道大会(個人戦)をNPO法人柔道教育ソリダリティーとの共催で開催します。また、第32回大会より、女子柔道の普及発展に尽力したラスティ・カノコギさんの精神と行動を広く知らせ、次世代に継承することを目的に、「Rusty Kanokogi Memorial」という冠名をつけ実施しています。大会を通じて少年少女達が平素の心身にわたる練習成果を充分に発揮し、柔道への意欲とお互いの友情をますます深めさらに成長することを望むものです。
4. 参加団体 19団体 209名(幼年・小学生・中学生)
 - (1) 武蔵野青少年柔道 8名
 - (2) 東村山市柔道連盟 10名
 - (3) 武蔵村山市柔道連盟 18名
 - (4) 一道館田代道場 4名
 - (5) バディ柔道クラブ世田谷 4名
 - (6) バディ柔道クラブ江東 8名
 - (7) 鈴木道場 14名
 - (8) 肥沼道場 7名
 - (9) バディ柔道クラブ横浜 9名
 - (10) バディ柔道クラブはるひ野 9名
 - (11) 川口市柔道連盟クラブ 9名
 - (12) NPO法人志陽館 5名
 - (13) 浦和柔道センター 修心塾 12名
 - (14) 昭道館池内道場 8名
 - (15) 東海大学付属翔洋高等学校中等部 6名
 - (16) 高山柔道塾 7名
 - (17) 了徳寺柔道クラブ 3名
 - (18) 東海ジュニアスポーツ 3名
 - (19) 松前柔道塾 65名
5. 協 賛 本大会には、個人5件、団体(企業)21件の協賛を頂いています。

6. ラスティ・カノコギさんと女子柔道の歴史について

ラストィ・カノコギさん (Rusty Kanokogi 1935~2009) は、米国・ニューヨーク市ブルックリン出身。ブルックリン YMCA で柔道を始めた 1955 年当時はたった一人の女性だった。1959 年のニューヨーク州選手権大会で、負傷した選手の代わりに胸にバンテージを巻いて男子に見せかけ出場し一本勝ちしチームも優勝。しかし、出場規定に性別が決められていなかったにもかかわらず、試合後に女子と分かって金メダルを剥奪された。これを悔しく思ったラストィさんは、後に続く女性に同じ思いはさせたくないと決心し、女子柔道の普及はもとより広く女性のスポーツ参加に全力を傾注していった。

1979 (昭 54) 年 12 月、国際柔道連盟 (以下 IJF) 会長に就任した望星学塾及び東海大学創立者の松前重義博士は、ラストィさんの情熱に心打たれ、その構想に理解を示して、以後二人三脚で女子柔道の普及を進めた。ラストィさんは、誰も手を挙げなかった女子世界選手権大会開催に手を挙げ、自宅を抵当に入れて資金をねん出し、組織委員長として成功に導いた。1980 年 11 月にニューヨークで開催された女子柔道の初の世界選手権大会は米国の女性が、自身の経営する柔道クラブの仲間とともに主管した手作りの大会であったことを忘れてはならない。彼女の柔道への情熱と無私の精神が、小さな一歩ではあったが、世界への扉を開いたのである。

その後、IJF は女子世界選手権大会開催の実績を積むとともに五大陸における普及を図ってオリンピック種目採用の条件を整えていった。IJF 内の意思統一、及び IOC との交渉に困難な面もあったが、最終的に松前会長は、男子無差別級の代わりに女子柔道を採用することで意見をまとめ、IOC との交渉で女子柔道のオリンピック参加を実現させた。女子柔道は 1988 年のソウルオリンピックで公開競技、1992 年のバルセロナオリンピックで正式種目になり、今日に至っている。

その後、IJF は女子世界選手権大会開催の実績を積むとともに五大陸における普及を図ってオリンピック種目採用の条件を整えていった。IJF 内の意思統一、及び IOC との交渉に困難な面もあったが、最終的に松前会長は、男子無差別級の代わりに女子柔道を採用することで意見をまとめ、IOC との交渉で女子柔道のオリンピック参加を実現させた。女子柔道は 1988 年のソウルオリンピックで公開競技、1992 年のバルセロナオリンピックで正式種目になり、今日に至っている。

ラストィさんがいなければ、女子柔道のオリンピック参加は 10 年以上遅れていたのではないかとされている。2009 年 11 月 21 日逝去、享年 74 歳。

